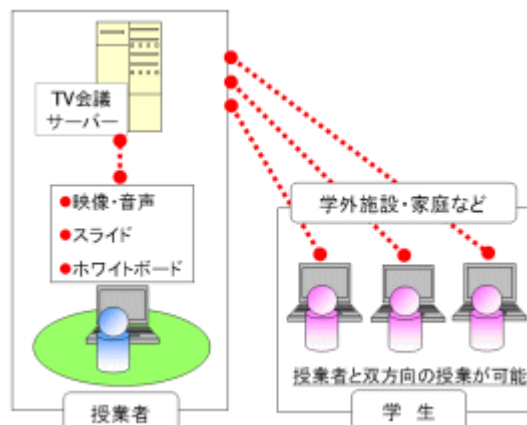


# 【インターネット TV 会議システムを利用した遠隔授業】

この授業では学内の遠隔授業スタジオと学生がいる教室をネットワークで結び、授業から演習、出席確認・質問などをコンピュータを通して行います。

インターネットTV会議システムを利用した遠隔授業システムは、従来のビデオ教材や衛星放送授業のように一方通行の授業とは異なり、授業者と学生が顔を見あわせながら、お互いがリアルタイムでやり取りする双方向授業を行うことができるのが最大の利点です。



遠隔授業システムの概念図

従来の遠隔授業システムは、高価な専用機器を必要としましたが、この遠隔授業システムはインターネットに接続できる環境があり、ブラウザがあればすぐに受講することが可能になっているのが特徴で、プレゼンテーションのスライドを板書やホワイトボードのように使用できるようになっています。また一度に 10 地点を結んで同時に授業を行うことが可能です。

大学設置基準が見直され、平成 10 年 4 月から、「遠隔授業」による単位認定が大学学部で 60 単位まで認められるようになりました。また 2000 年に打ち出された「e-Japan 構想」の中には初等/中等教育にも遠隔教育を普及させていく考えも盛り込まれており、ブロードバンド回線が普及するようになってきた現在、学校教育全般において、今後さらに e ラーニングや遠隔授業の活用度が高まっていくと期待されています。

## 授業者紹介



### 神村 哲也 / Tetsuya Kamimura

1969 年 鹿児島県生まれ。

Microsoft University、日本 IBM 研修サービス、富士通ラーニングメディア等で数々のシステム管理を学ぶ。平成 13 年度よりシステム管理主任。コンピュータは Windows、Linux のほか、Solaris も手がける。

ネットワーク文書配信システム、コンピュータウィルス集中管理システム、生徒 PC 一斉リカバリーシステム、SMTP 認証型メールサーバーなどの構築や WBT (e-learning) システム性能評価試験を行う。文部科学省指定学力向上フロンティアハイスクール本校役員、文部科学省 IT 教育実践ナビ、神村学園 IT 教育技術向上委員会など学内はもとより、学外においてもなど精力的な活動を行っている。

●担当教科：高校：理科（生物・化学）、衛生看護専攻科：生物学、情報処理

●座右の銘：「井戸を掘るなら水が出るまで掘れ」